



大好き三瓶

西予市立三瓶小学校 HP <https://mikame-e.esnet.ed.jp/>



令和6年度、ラストスパート

校長 三好 則史

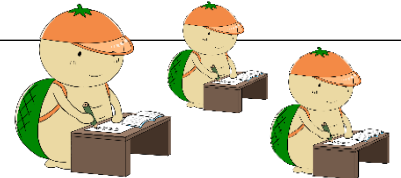
校庭の梅の花が白い花を咲かせ、春の到来を告げています。今シーズンは2度の寒波に襲われ、大雪が降りました。幸いにも三瓶は上手く避けることができ、ほっとしたところです。

さて、令和6年度、残すところ1か月となりました。学校では、学年末に向けてそれぞれの学年が「ラストスパート」にかかっています。卒業に向けて、学年のまとめや進級に向けて、気合の入った毎日を送っています。思い通りの締めくくりをさせてやりたいものです。その子供たちの最後の頑張りを支えるのが「健康」です。暖かくなつては来ましたが、気温の寒暖差が大きいため、対応がうまくできないと体調を崩しがちです。風邪症状や発熱で欠席する子が目立っています。今一度、健康についてチェックをお願いします。

- ・ 毎朝、6時には起きよう。
- ・ 外から帰ったら、手を洗おう。（うがいをしよう。）
- ・ 朝ご飯をきちんと食べよう。
- ・ ごはんの後や寝る前には、歯をみがこう。
- ・ 朝起きたら、顔を洗おう。

これは、入学説明会で、来入児の保護者をお願いした中の一部です。

4月に入学する新1年生のお手本になっておいてほしいです。



読書する人だけがたどり着ける場所

「本をたくさん読むこと」を重点の一つとして指導を進めました。お子様の読書習慣に変容は見られたでしょうか。学年ごとに目標を定め、達成を目標に読書を勧めてきました。全学年が80%以上達成という大きな目標には届きませんでした。着実に読書量は増え続けています。来年度さらに伸ばしていけることを期待しています。

教育の分野にもデジタル化が急速に進む中、常に課題として挙がってくるのが語彙力と読解力の不足です。読解力を向上させるためには、語彙の増加が不可欠です。語彙を増やし読解力を高めることで、より多くの知識や考え方を学ぶことができます。それを基に、さらに深い思考ができるようになり、より深いコミュニケーションがとれるようになるわけです。そのためにも「読書量の増加」への取組は、継続して行わなければなりません。今の子供たちの読書意欲を継続し、さらに向上させるためにも引き続き、御家庭での御支援をお願いいたします。

齊藤孝先生の書かれた「読書をする人だけがたどり着ける場所」という本があります。なるほどと思いつながりながら読むことができましたので、その中からいくつか紹介をさせていただきます。

「まず、読書は、いつの時代も素晴らしいもので、思考力を伸ばし、想像力を豊かにし、苦しいときも前進する力をくれます。自己を形成し、人生を豊かにするのに欠かせないのが読書です。読書をすると深い思考ができ、同じものを見たり、同じことをしたりしても、見えるものを感じるものが違ってきます。奥に秘められたことが分かたり、思いが伝わってきたりするのです。これが深いコミュニケーションの基になっており、豊かな人生へとつながっていくということです。」

もっともっと自分が実感できるようになっていきたいと思いました。

愛媛県出身のプロゴルファー。松山英樹さん。今や世界の舞台上で活躍中です。よく見付けましたね。

あたまおしりゲーム

第12回は、節分にちなんで、お題は㊟㊿でした。今回の応募は全部で28点でした。

最優秀は、㊟つやま ひで㊿ 2年 三好 笑菜 さん です。おめでとうございます。

次のお題は、「ももの節句」のお花見にちなんで、㊟㊿です。締め切りは、3月14日（金）です。今年度最後になります。じっくり考えてすてきな言葉を見付けましょう。



かめたんニュース

2/7（金）入学説明会・体験入学

来年度、1年生になる皆さんと保護者の方をお迎えしました。今年度は、給食試食会も合わせて実施。1年生は、張り切って準備し、来年度1年生との食事を楽しみました。この日のメニューは人気の唐揚げです。保護者の方は、栄養教諭の話聞いた後、給食の試食。その後、子供たちは、牛乳パックを使ったコマの工作で交流学习。保護者の方は、学校生活や準備についての説明を聞いていただきました。



2/25（火）アスリートから学ぶ

愛媛県のアスリート派遣事業に希望し、東京都から講師の先生をお迎えしました。来ていただいたのは、「体操競技」日本代表選手として、アテネオリンピックや北京オリンピックに出場され、現在は指導者として日本全国で御活躍中の大島杏子さんです。運動をすることが、人生の様々な場面で大切になることについての講話から始まり、準備運動とストレッチ。マットを使った実技では、前転・後転・開脚前転・開脚後転・伸膝後転、そして倒立を教わりました。大島杏子さんのお人柄や、分かりやすいアドバイスに、やる気を後押ししていただいた三瓶っ子。終わる時間には、「もっと教わりたい！大島先生の技を見せてほしい」とリクエスト。すると、特別に息を呑むような華麗な演技を見せてくださった大島さん。「頑張ろうとした過程に意味がある。」「できなくても失敗と思わずに・・・」運動だけではなく、素敵な言葉もたくさんいただいた三瓶っ子です。



2/13(木) 文化会館での開催! 学習発表会

昨年度、10周年を記念して開催した文化会館での学習発表会。保護者の皆様だけでなく、地域の方も行きやすいとお申し出いただき、今年度も文化会館での開催をさせていただきました。平日ではありましたが、多くの皆様にお越しいただき、学習の成果を発表することができました。

大好き三瓶につながる
各学年の発表でした!



ぱっとたのしくあつまろう! P・T・A!

2/19(水) 広報部「五つ星」発行に向けて・・・

1月に入ってから、広報部員の皆様が、「五つ星」22号の発行に向けて、活動されました。先日、最終のチェックということで広報部長、副部長のお二人が来校。パソコンと原稿をにらめっこ。読みたくなる紙面を作るのを目標に活動された広報部の皆様。年度末の紙面も三瓶っ子の様子を様々に捉えてくださっています。発行に向けてお時間を作り、携わってくださった広報部員の皆様、お忙しいところ、ありがとうございました!



かめたんの参考書 ⑨ 100回の努力

2学期後半から3学期にかけて、子供たちから、「～ができるようになりました!」「〇〇が成功しました!」「100点とれました!」など、嬉しい報告が入ってきます。春に努力曲線の話をして、100回の練習が一つの目安と伝えておくと、もっと早く、嬉しい報告を聞くこともあります。合わせて「努力の壺」の話をしておくとより効果的です。できるようになるまでの努力が決して無駄ではないこと。見えない部分の高まりをイメージしながら、できるとき(壺からあふれ出すとき)まで前向きに練習に取り組むことができます。励ましのお話にいかがでしょうか。